

楽々！インデックスシートメーカー Windows 版

使用説明書
Ver.1.01

初めに

当ソフトウェアは「**楽々！学校写真システムⅣ**」シリーズの見本シート作成機能のみを取り出したインデックスシート作成ツールです。

いわゆるコンタクトシートの作成以外にも、集合写真の文字入れ機能、デジタル一眼カメラで撮影した画像の EXIF 情報シートの作成機能も持っています。

また壁展示用にファイル名や、連続番号を写真枠内に表示する機能もあります。

※ マニュアルの一部の画像は「**楽々！学校写真システムⅣ**」の画面を使用しています。

© Copyright 2018 株式会社 ホワイトドア

本ドキュメントに関する著作権は、株式会社 ホワイトドアへ独占的に帰属します。株式会社 ホワイトドアが事前に承諾している場合を除き、本ドキュメント全体又は一部の文章や図などを複製する事は禁じられています。

本取り扱い説明書を作成するにあたり細心の注意を払っていますが、記述の誤りや欠落があっても株式会社 ホワイトドアはいかなる責任も負わないものとします。

本説明書に記述されている各社の社名、製品名やサービス名は、各社の商標又は登録商標です。

目次

楽々！インデックスシートメーカー のインストール	4
インストールの前に	4
1. プログラムのインストール	5
2. オンライン認証	6
3. シリアルNo. について	7
4. 基本的な使い方	8
① 起動	8
② 写真フォルダと保存先フォルダの選択	8
③ インデックスの作成	9
④ 作成できるインデックスの種類	9
⑤ 画像の調整	10
⑥ インデックスシートの設定編集	11
5. フォルダ構成や設定ファイル	15
① システム設定フォルダ	15
② 各種ファイルの説明	15
③ 保存先フォルダの構成	15
6. こんな時には	16
① 不要なプロジェクト履歴を削除したい	16
奥付	17

インストールの前に

- ① 動作環境を確認してください。

Core2Duo 3.0Gz 以上又は互換 CPU

Windows 7 / 8.1 / 10 32bit / 64bit 搭載メモリ 4Gバイト以上 8Gバイト以上推奨

インターネットへの接続が可能になっている事。(認証に必要です。)
(ブラウザによるホームページの閲覧が出来る環境を用意してください。)

- ② このソフトウェアを扱うには以下の **OS** についての知識が必要です。
不明な点についてはOSのマニュアルや市販の書籍を良くお読みください。

・OSの基本的操作

OSの起動とシャットダウンの操作

プログラムの起動・終了

コンボボックスやテキストボックスの操作

IME(日本語入力)のON/OFFの操作

エクスプローラー/Finder を使ったファイルやフォルダのコピーや移動・削除など

・メモ帳などのテキストエディタでの、書式の設定や印刷の操作

・ローカルネットワークの設定やフォルダの共有設定

- ご注意** 上記のようなOSについてのトラブル・ご質問はサポート外とさせていただきます。

1. プログラムのインストール

ダウンロード版の場合は ZIP ファイルを解凍し、[IndexSheetMaker.exe] をダブルクリックしてインストーラーを起動します。
パッケージ版の場合はインストール CD を CD-ROM ドライブにセットします。

自動起動しない場合は CD-ROM 内の [IndexSheetMaker.exe] をダブルクリックしてインストーラーを起動します。

(1) セットアップが開始されます。[Next] ボタンをクリックしてください。

(2) インストール先は Program Files フォルダ以下になります。

64bit 版は [C: ¥Program Files¥IndexSheetMaker] です。
32bit 版は [C: ¥Program Files (x86)¥IndexSheetMaker] です。
(数値の対応版の場合はフォルダ名の最後の win の部分が kz に変わります)

[next] ボタンを押して進んでください。

(3) インストールが行われます。そのままお待ちください。

(4) インストールが完了します。

[Finish] ボタンを押してインストーラーを終了します。

Run 楽々！インデックスシートメーカー now にチェックをしたまま Finish ボタンを押すと起動します。

インストールが完了するとスタートメニューに[楽々！インデックスシートメーカー] が追加されます。

2. オンライン認証

初めてプログラムを起動するとオンライン認証画面が出てきます。

ソフトウェア使用許諾契約書 を良くお読みください。

**1ライセンスにつきインストール可能なパソコンは 1台までとなります。
1ライセンスあたり指定回数の認証が可能ですが、上限回数を超えた場合は追加ライセンスの購入が必要になります。**

登録作業の前にあらかじめインターネットに接続しておいてください。

コンピューターがインターネットに接続出来ない環境の場合は、携帯電話などと通信アダプタケーブルで接続してインターネットに繋いでおく必要があります。
通信アダプタケーブルは携帯電話会社やサードパーティー各社から発売されています。

セキュリティーソフトをご使用の場合には、あらかじめ当製品のインターネットアクセスを許可しておくか、一時的に数分間だけファイヤーウォールを停止させておいてください。

(1) オンライン認証

3つの入力項目にそれぞれ入力を行います。

登録店名	お名前又はお店又は会社名を全角 8 文字以上で入力します。
シリアル No.	このソフトウェアのパッケージ又はCD-ROMケースなどに貼られている12桁のナンバーを半角英数文字で入力します。
連絡先電話番号	必要な場合に連絡をする為の電話番号です。店舗の固定電話か担当者の携帯電話番号などを入力します。(例: 0263-12-3456)

■**ご注意** 既にオンライン認証を行った事がある場合は必ず以前と同じ登録店名と電話番号を入力してください。
入力情報はインストール後にヘルプメニューのバージョン情報で確認出来ます。

[登録] ボタンをクリックすると確認ダイアログが表示されます。

[はい] をクリックするとオンライン認証サーバーに接続されます。

登録が完了すると「認証が完了しました。」というダイアログボックスが表示されます。

シリアルコードが合っていないかたり登録回数が限度回数を超えた場合、又はサーバーやネットワークに問題があってサーバーに接続出来なかった場合に認証エラーダイアログが表示されます。

もし、[登録] ボタンをクリックしてしばらく待っても変化が無い場合は[キャンセル] ボタンを押してキャンセルして、時間を空けて再試行してください。

オンライン認証が完了していない場合はプログラムは終了します。

■個人情報の取り扱いについて

登録時に入力していただく情報は細心の注意を払って管理されます。入力していただいた項目とコンピューターのネットワーク上での識別情報以外は一切送信されません。

3. シリアルNo. について

このソフトウェアのパッケージ又はCD-ROMケースなどに貼られている12桁のナンバーです。

シリアル No. はパッケージ毎に固有の番号です。お客様がオンライン認証を行うのに必要な大事な番号ですので盗難にあたり紛失しないように大事に保管してください。

使用許諾契約書にあるように1つのシリアル No. で各バージョンの設定回数まで認証が行えますが、この回数を超えると追加ライセンスを購入していただく事になります。

認証制限回数は1台のパソコンにインストールを行って、パソコンの買い替えなどの理由での複数回の再インストールを想定して設定されています。これを超えて認証をする事ができません。

※ 使わないパソコンにテストでインストールして認証した場合でもカウントされますのでご注意ください。

4. 基本的な使い方

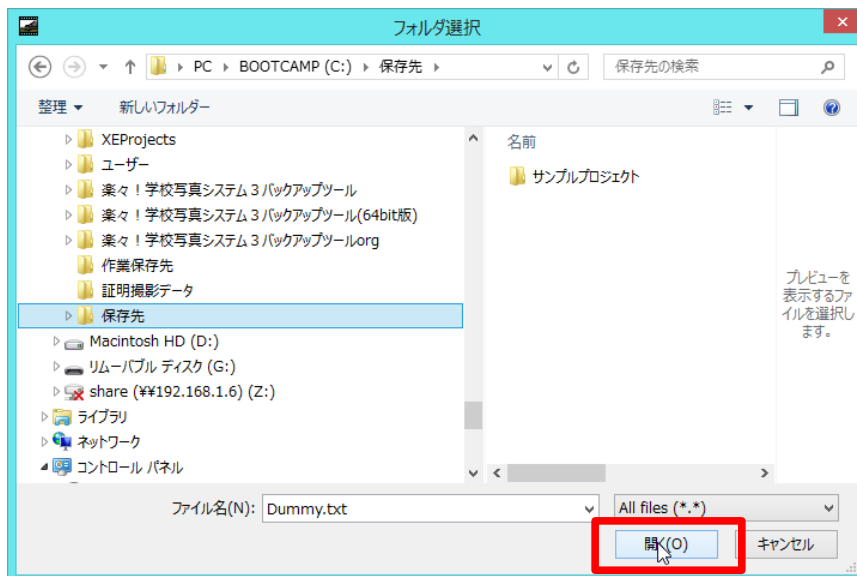
① 起動

[スタート] ⇒ [プログラム] ⇒ [楽々！インデックスシートメーカー] ⇒ [楽々！インデックスシートメーカー] と辿ってメニューを開きクリックして起動します。

またはデスクトップのショートカットをダブルクリックして起動します。

② 写真フォルダと保存先フォルダの選択

- (1) 保存先フォルダ名を [フォルダ選択] ボタンをクリックして保存先を決定します。
★データの量が大きくなる可能性があるため **Windows の起動ドライブ以外** に設定してください。



保存先を一度指定すると次回から同じフォルダを簡単に指定可能です。

- (2) 写真データのあるファイルを開きファイルごとメインウインドウ右端にある下向き矢印の上にドラッグ&ドロップします。

既に連番ファイルを作成後に、フォルダを追加する場合も同様にメインウインドウのドロップエリアにドラッグ&ドロップします。ドロップしたフォルダがフォルダ欄に追加されます。

※ ソートはフルパス名で行われますのでファイル名のみで並べ替えたい場合にはサブフォルダに分けずに、1つのフォルダに写真画像を全部揃えてください。

- (3) メインウインドウの [画像リスト作成] ボタンをクリックします。

③ インデックスの作成

画像ファイルから写真のインデックスを作成する機能です。

- (1) メインウインドウの **[写真サンプルの作成]** ボタンをクリックします。
- (2) シートを選択します。**[インデックスシート設定]** 選択ボックスから用紙サイズと縦横枚数などで目的の項目を選びます。
- (3) タイトル文字列は文字入れ時やシートに行事名や学校・保育園名などを入れたい場合に入力します。
- (4) オプションの選択

連続して出力する 通常はチェックを入れておきます。
1枚だけ作成して確認する場合にチェックを外します。

作成時間毎にサブフォルダを作成する 通常はチェックを入れておきます。
年月日時分秒をフォルダ名として処理毎に一覧フォルダ以下にサブフォルダが作成されます。
チェックされている場合には処理時には他のサブフォルダ内のファイルは削除されません。

※ **チェックをはずしてシートを作成した場合には一覧フォルダ以下にあるファイルはすべて削除されますのでご注意ください。**

既存のファイルは上書きしない チェックを外すと同名のファイル(page0001.jpg など)は上書きされてしまいます。

連続処理中はビューワーを更新しない チェックを入れると1ページごとに作成した画像を表示しなくなります。

- (5) **シート作成** ボタンをクリックすると写真画像が読み込まれ1ページ作成完了する毎に下にあるプレビューエリアに、作成されたインデックスシートが表示されます。

④ 作成できるインデックスの種類

当ソフトウェアでは以下の種類のインデックスシートが作成できます。

- A. 同時プリントでついてくるようなL判などに数十コマの写真一覧
- B. EXIF データを画像の下に表示するインデックスシート
- C. 白フチのある1枚の写真の下部に行事名と日付の文字が表示された集合写真

(A) 写真一覧の作り方

- (1) **[インデックスシート設定]** の一覧で名前に「インデックス」の文字が含まれているものを選択します。
- (2) 行事名や撮影日などをタイトル文字列欄へ入力します。
- (3) 1ページを超える場合は **連続して出力する** にチェックを入れます。
- (4) **[シート作成]** ボタンをクリックします。

(B) EXIF データを表示するインデックスシートの作り方

- (1) **[インデックスシート設定]** の一覧で名前に「EXIF 情報」の文字が含まれているものを選択します。
- (2) 行事名や撮影日などをタイトル文字列欄へ入力します。
- (3) 1ページを超える場合は **連続して出力する** にチェックを入れます。
- (4) **[シート作成]** ボタンをクリックします。

(C) 集合文字入れ写真

- (1) [インデックスシート設定]の一覧で名前に「集合写真」または「文字入れ」の文字が含まれているものを選択します。
- (2) 行事名や撮影日などをタイトル文字列欄へ入力します。[SDATE]の部分は年月日に自動的に置き換わりますので削除しないようにしてください。
- (3) 写真の位置や色などの調整を行いたい場合にはプレビューで調整する にチェックを入れます。
- (4) [シート作成]ボタンをクリックします。

⑤ 画像の調整

1枚の写真を1ページに割付けるシート設定を選択した場合には、簡単な調整を行う事ができます。

- ・ 色補正 (RGB) 各成分 ± 0.20 倍まで
- ・ 拡大 (元画像の画素数を超えての拡大はできません)
- ・ 左右位置調整
- ・ 上下位置調整
- ・ 回転 ± 15 度まで

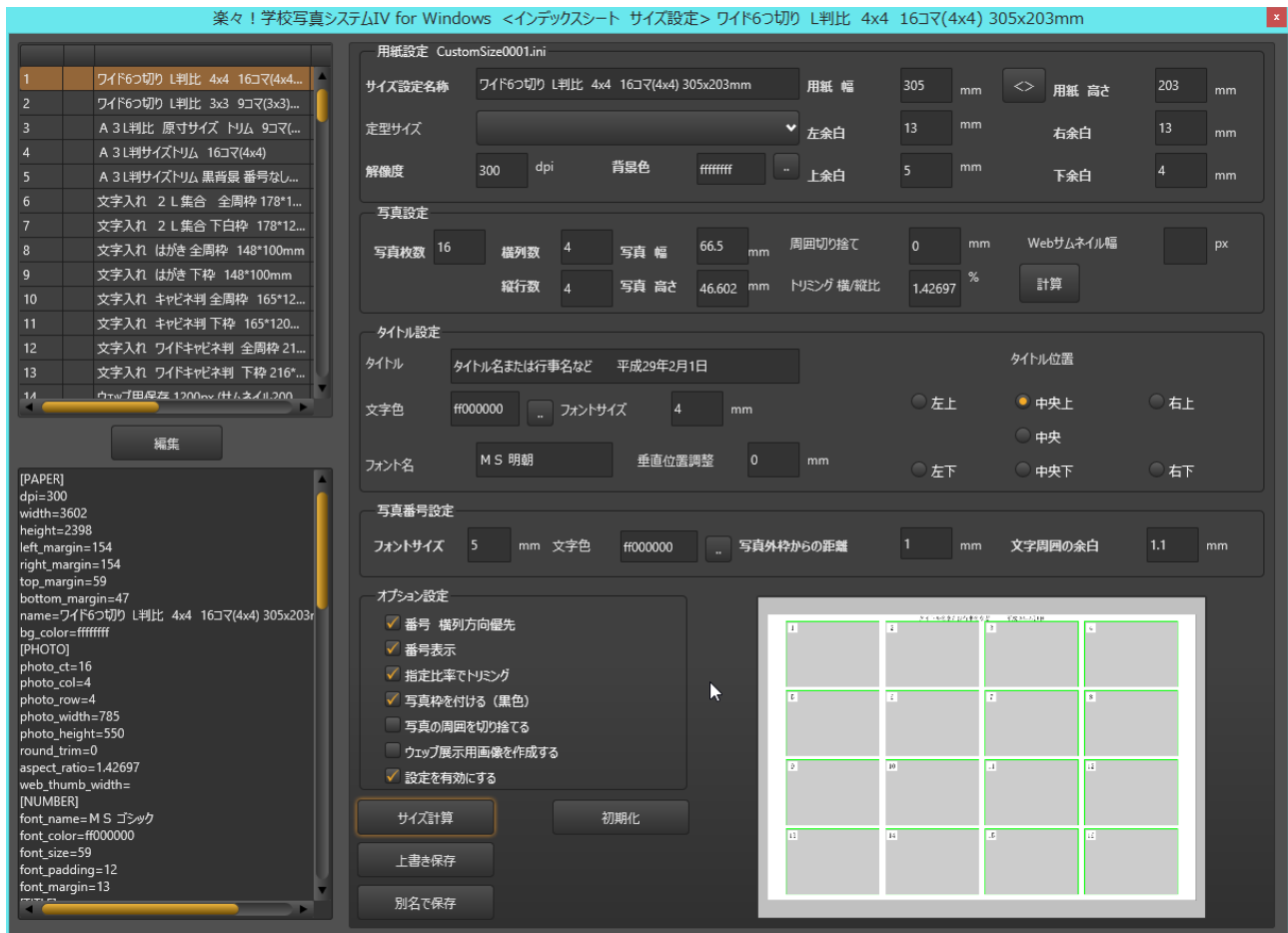
- (1) 色補正
RGB 値を各成分毎に 0.8~1.2 倍までの範囲で調整します。
スライダーの右にヒストグラムが表示されます。

色補正を行う のチェックを ON/OFF することで調整前と調整後と比較する事ができます。

- (2) 拡大
スライダーを動かして調整します。赤い枠のサイズが変わります。
画像の上に表示されている赤枠が実際にシートに表示される範囲です。
- (3) 左右位置調整
スライダーを動かして調整します。赤い枠が左右に移動します。
画像からはみ出さない範囲で調整してください。
- (4) 上下位置調整
スライダーを動かして調整します。赤い枠が上下に移動します。
画像からはみ出さない範囲で調整してください。
- (5) 回転
丸いコントローラーを回して調整します。画像が回転します。
赤枠が画像からはみ出した場合は拡大、左右位置、上下位置を調整してください。

⑥ インデックスシートの設定編集

(3) シート設定を新規に作成したい場合は[シート設定編集]ボタンをクリックします。



① 新規に設定を作成する場合は右側の各種設定項目をすべて入力します。
既存の設定を元に新しいシート設定を作成する場合は、左上の一覧から対象の設定を選択してから「編集」ボタンをクリックします。

② 各種設定項目の入力が終わったら「サイズ計算」ボタンをクリックします。
左下の欄へ設定内容が表示され、右下にシートイメージが表示されます。

シートイメージの上でマウスホイールを動かすと拡大縮小が行えます。
細部を確認する場合には、拡大後にスクロールバーをドラッグして動かして表示位置を調整します。

③ 既存のファイルを更新する場合には「上書き保存」ボタンを、新規作成の場合や元の設定を残す場合には「別名で保存」ボタンをクリックします。

設定内容の詳細

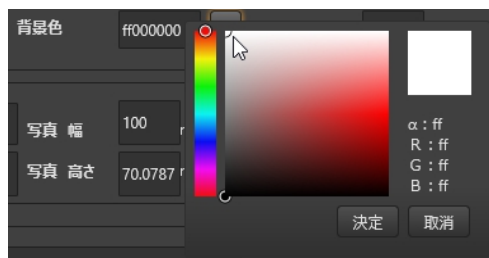
- | | |
|-------------|------------------------------|
| (A) 用紙設定 | 用紙のサイズや余白、解像度、背景色などの設定 |
| (B) 写真設定 | 写真の縦行数・横列数や1枚当たりのサイズや比率などの設定 |
| (C) タイトル設定 | タイトル文字列の文字列やフォント、表示位置などの設定 |
| (D) 写真番号設定 | フォントの色や位置調整の設定 |
| (E) オプション設定 | 番号の ON/OFF やトリミングや枠などの設定 |

(A) 用紙設定

設定名称を「サイズ設定名称」欄へ入力します。
定型サイズのコンボボックスから用紙の種類を選択します。幅と高さ欄へ選択した用紙サイズが入力されます。
サイズ一覧に無い場合には幅と高さを個別に入力します。

上下左右の余白を入力します。0以上の数字を入力します。小数点以下も入力可能です。
解像度は初期値 300dpi ですが、600dpi 対応の銀塩プリンターを使用する場合には変更してください。

背景色は ARGB 値を直接入力するか[...]ボタンをクリックしてカラーピッカーで色を選択します。
カラーピッカーではアルファ値(半透明度)を設定出来ないので決定後に最初の2文字を変更してください。
(完全不透明なら最初の2文字に ff を、半透明なら 80 を設定します。)



(B) 写真設定

写真のページ当たりの枚数と縦行数と横行数を入力します。

写真1枚毎の寸法を設定します。L判比の場合には横縦比率が 127:89 になるようにします。

トリミング比率はL判なら 1.42697 になります。写真1枚毎の寸法から計算するには[計算]ボタンをクリックします。

周囲切り捨てはプリンタの紙送りで上下にブレて顔を切れる場合などにクレームにならないよう外周をトリミングする寸法です。通常は 0 に設定します。

Web サムネイル幅は通常は未設定のままにします。
オプション設定で「ウェブ展示用画像を作成する」にチェックを入れた場合のみ 100~200 程度でピクセル寸法を入力します。

(C) タイトル設定

タイトルを表示しない場合には空欄のままにします。インデックスシート作成画面で設定を選択した時にタイトル文字列欄へコピーされます。

文字色やフォントの種類やサイズを設定します。
垂直位置調整は文字入れ時に上下に微調整する場合に入力します。マイナス値も設定可能です。

タイトル位置は7箇所から選択可能です。Web 展示用の画像を作成する場合は中央を選択して文字色を半透明(80ffffff または 80000000)にするとウォーターマークになります。

(D) ページ番号設定

ページ番号の表示の設定です。[\$PAGE]の文字列はシート作成時にページ番号の数字に自動的に置換されます。

文字色やフォントの種類やサイズを設定します。
垂直位置調整は文字入れ時に上下に微調整する場合に入力します。マイナス値も設定可能です。
タイトル位置は7箇所から選択可能です。

(E) その他の設定

ファイル名や EXIF 情報を写真の下に表示する場合の設定です。

※ ページの写真縦行数が1の場合には、[下余白]に設定した領域へ文字が表示されます。

ページの写真行数が2以上の場合には、一番下の行の写真は[下余白]に設定された領域に、それ以外は上の写真と下の写真の間のスペースに表示されます。

写真枠の幅や余白領域の高さより指定フォントサイズではみ出す場合には自動的に縮小表示されます。

文字色やフォントの種類やサイズを設定します。
各チェックボックスの ON/OFF でオプションを設定できます。

- ファイル名を表示する : 画像の下にファイル名を表示します。
- 撮影日を表示する : 撮影日を表示します。
- 撮影日を2行目に表示 : ファイル名の下に改行して撮影日を表示します。
- EXIF 全情報を表示 : EXIF 情報を文字列として表示します。

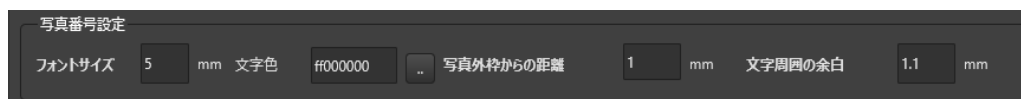
※ EXIF 情報を持たない jpg ファイルの場合には撮影日は表示されません。

水平方向位置は写真枠の左揃え、中央揃え、右揃えから選択します。

背景画像は jpg または png または bmp ファイルをフルパスで指定します。
(例: E:\画像\背景画像\設定 01.jpg)

サイズが用紙設定のピクセル寸法と違う場合には左上合わせで表示されます。

(F) 写真番号設定

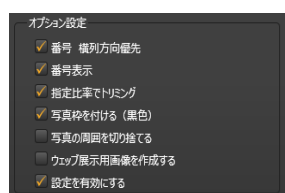


文字色やフォントの種類やサイズを設定します。

写真外枠からの距離は番号が写真の外の余白にくっついてしまっている場合に数ミリ写真内部に表示したい場合に1~2ミリ程度で設定します。

文字周囲の余白は、番号の文字の周りの白い矩形の外周までのミリ寸法を設定します。初期値は1です。

(G) オプション設定



[番号縦列優先]

[番号表示]

[指定比率でトリミング]

A0判などを横に並べて展示する場合に縦方向優先で写真を並べます。写真の左上隅に写真の番号を表示します。文字入れ時はオフにします。L判などの比率になるように上下左右をトリミングします。

見本では写っていたのにL判プリントで顔が切れているなどのクレームを防ぎます。

[写真枠を付ける (黒色)]

[写真の周囲を切り捨てる]

写真に外枠を1pix幅で付けます。

画像の周辺部を数ミリ切り捨てます。ミニラボ機のペーパー送りの揺れで写真の端にある顔が切れるのを防ぎます。

[ウェブ展示用画像を作成する]

Web展示用の見本画像を作成します。

保存先は一覧フォルダでなくWeb用フォルダに変更されます。

5. フォルダ構成や設定ファイル

① プロジェクト設定やシステム設定フォルダ

[設定フォルダ]をクリックします。

initdata フォルダ内にシステム設定情報が保存されています。
インデックスシート設定や FTP 設定などの設定ファイルがあります。

② 各種ファイルの説明

・initdata フォルダ
CustomSize000x.def 写真サンプルの用紙サイズなどの設定ファイル (0001～9999 まで)

③ 保存先フォルダの構成

保存先フォルダ内にはサブフォルダが作成されます。

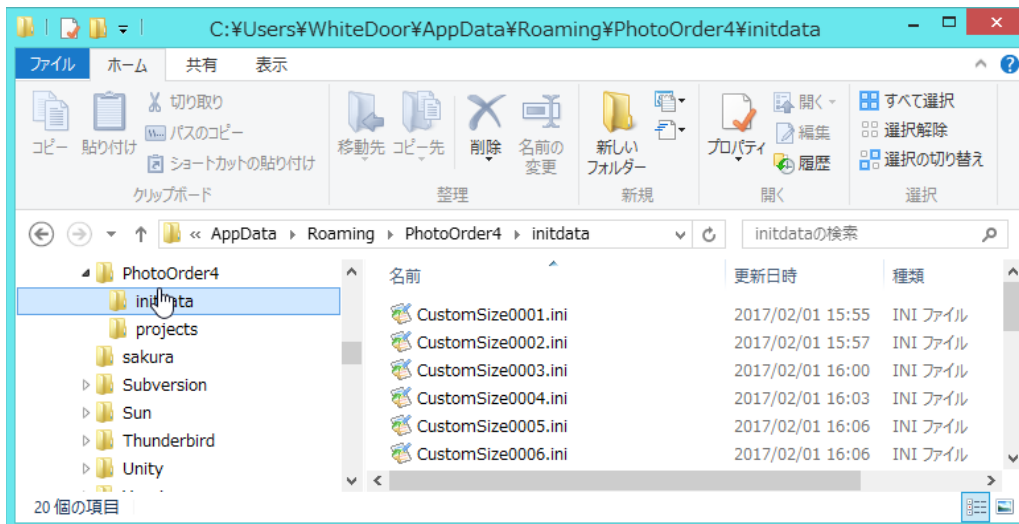
一覧フォルダ 作成されたインデックス画像ファイルが保存されています。

オプションで作成時間毎にサブフォルダを作成が有効になっている場合には
一覧フォルダ下に年月日時分秒の数字のサブフォルダが作成されています。

6. こんな時には

① インデックスシート設定ファイルの一部を削除したい

メインメニューの**設定**から**[システム設定フォルダ]**をクリックします。



※ **必ずファイルのバックアップを取ってください。**

フォルダ内にある **CustomSizeXXXX.ini** のうち削除したいファイルを削除します。
(XXXX の部分は4桁の数字になります。)

株式会社 ホワイトドア

本店
〒399-8301 長野県安曇野市穂高有明7732-5

開発室
〒390-0876 長野県松本市開智 3-4-20 西棟
電話 0263-33-3373

E-mail: info@white-door.co.jp

※ 電話での無料サポートは行っておりません。

製品についてのお問い合わせは下記 URL より送信してください。
3営業日～6営業日以内にメールにて返信させていただきます。

<http://white-door.co.jp/supportform.html>